



希望の鐘

宇部市立見初小学校

令和6年9月25日

児童数
96人
(9/25現在)

<学校教育目標>

さわやかに、かしこく、たくましく未来を拓く見初っ子の育成

人生100年時代を豊かに生きていくために・・・

校長 川本 朋子

9月16日（月）の敬老の日。見初ふれあいセンターでは、見初ふれあい親和会の主催による「見初ふれあい親和会敬愛福祉大会」が行われました。たくさんの地域の方々が、笑顔でお集まりになっておられました。

本校からは、4年生の児童が作文を披露しました。日頃から見守り隊でお世話になっている方もいらっしゃいますし、これまで、自分たちの住む見初地域のために尽くしてこられたことを、児童もよく知っています。しっかりと感謝とお祝いの気持ちを伝えることができました。

さて、この敬愛福祉大会で心に残った言葉があります。それは、来賓の方のご挨拶の中にもありました。いつまでも元気で過ごすために大切なこと、それは「**キョウイク**」と「**キョウヨウ**」とのこと。ふと頭には「教育」や「教養」の漢字が浮かびました。ところがよくよくお話を聞いてみると、「キョウイク」は「**今日、行く。**」で「キョウヨウ」は「**今日、用(事がある)。**」だそうです。なるほど！と合点がいきました。今日行くところがあれば、それを張り合いにお出かけの準備をしたり友達を誘ったりと、楽しい気分ですぐ一日を過ごすことができます。今日用事があれば、そのために必要な知識を得ようとしたり、分からないことを誰かに尋ねたりすることで、程よい緊張感が生まれます。用事を終えれば一安心で、気持ちも楽になります。「今日、行く。」も「今日、用(事がある)。」も生き生きと生活する上で、大切なことだと改めて感じました。

児童に置き換えてみれば、「今日、行きたい」と思える学校があること、「今日の用事」として、解決したい課題やチャレンジしたい内容があることが、毎日の生活に楽しみと潤いと適度な緊張感をもたらすことになるのだらうと思います。児童のこの先の「**人生100年時代**」が豊かでありまうように、学校としても様々な学びの場を提供できればと思います。

この日、お祝いの昼食会の後には、たくさんの方々の素敵な歌声の披露がありました。さながら「見初カラオケカフェ」のようでした。地域の方々のきらきらとした笑顔と心にしみる歌声に魅了されたところです。地域の方々に元気をいただきました。

子どもたちは、地域の方々とふれあいを楽しみにしています。どうぞ、学校へも遊びにいらしていただければと思います。

安全や緊急時のために・・・

校内で薄くなっていた白線を引き直していただきました。例えば、西門から登校して来て最初に渡る横断歩道。児童もしっかりと意識して左右の確認ができるとよいです。自動車も必ず一旦止まって児童の横断がないかご確認をお願いします。また、保健室前に引いてあった救急車等の緊急車両の駐車や移動のための黄色の線も、はっきりとわかるように引き直していただきました。ご来校の際には、黄色の線のところへの駐車はご遠慮いただきますよう、お願いいたします。

